

図書館だより

2021年5月号 No.411

発行／静岡市立図書館 編集／麻機分館



家康公も好んだ(!?)「麻機の蓮根」

静岡市葵区・麻機地域の特産物として、蓮根栽培を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

麻機地域での蓮根栽培の起源は確かな記録がないため定かではありませんが、駿河国新風土記によると、「浅畑沼ニ鬼蓮ト言アリ、此実ヲトリテ食料トス…」とあり、栽培されたものかは分からないながらも、古くから浅畑沼の周辺で蓮根が採れたことを物語っています。「沼の婆さん」(※)の伝説で知られる浅畑沼周辺の低地は、巴川の上流にあって、地下数メートルから十メートルにも及ぶ軟弱で有機物の豊富な泥層が分布しており、蓮根栽培には好適地とされています。

麻機の蓮根は細身で、他の地域の蓮根と比べて節々がはっきりとくびれ、ふっくらとした形状をしています。また、シャキッとした食感、糸を引くほどの粘りが上質な蓮根の特徴です。

麻機の蓮根には、徳川家康公にまつわる伝承が残っています。駿府(現：静岡市)での大御所時代、漢方に精通していた家康公は、特に上質な麻機の蓮根と山芋を1対1の割合ですり潰し、それをご飯にかけ、いわゆる「とろろ飯」にして食べたといわれています。

栄養価が高く、噛めば噛むほど豊潤な旨味が感じられるという麻機の蓮根。天下人の胃袋を満たしたという「とろろ飯」の他にも、キンピラ、天ぷら、フライなどに向いており、やや厚めに切って食べると持ち味が生きるそうです。



↑麻機の蓮根(写真提供：JA静岡市)



蓮根は、春に発芽して夏に開花、秋に収穫期を迎えます。移りゆく蓮田の様子に季節を感じながら、麻機地域ならではの味覚を、今から楽しみに待ってみてはいかがでしょうか。

(※伝説「沼の婆さん」の紹介は裏面にあります。)

←花期の蓮田

(※) 伝説「沼の婆さん」

麻機地域に伝わる、南北朝時代初めごろの伝説。浅畑沼に棲む河童によって、孫を沼の中に引きずり込まれてしまった祖母（沼の婆さん）が怒り狂い、竜（大蛇ともいわれる）に姿を変え、河童を退治して沼の守り神になった、という。

※「沼の婆さん」には様々な言い伝えがあります。

<<参考文献・資料>>

『麻機誌』安本博／編 麻機誌をつくる編集委員会／発行 S211.1ア

『駿國雑誌 二』阿部正信／著 中川芳雄ほか／編 S230 ア

『家康公の史話と伝説とエピソードを訪ねて』黒澤脩／著 S291.09 ク

『フォト絵本 沼のばあさん 郷土・浅畑沼の伝説』お母さん人形劇団「星の子」／著 S388 ヌ
静岡県ホームページ『ふじのくにを食す あさはた蓮根』

(URL)http://www.pref.shizuoka.jp.gsb01.sisacs.jp/kikaku/ki-110/fujinokuni/documents/fuji_vol22_shoku.pdf

★中央図書館の休館中は臨時窓口をご利用ください★

- ◇開設場所 中央図書館前の利用者駐車場
- ◇取扱業務 予約の受付、予約資料の貸出・返却
- ◇開設時間 平日（月～金）9：30～19：00、土日祝日 9：30～17：00
※毎月第2月曜日、第4水曜日（国民の祝日にあたるときは翌日）、国民の祝日の次の平日（土日・国民の祝日以外の日）、12月28日～翌年1月5日、資料点検期間を除く
- ◇その他 中央図書館の蔵書は利用できません。（WEB検索も対象外）
ブックポストの位置は利用者駐車場に変更しています。

<<図書館HPアドレス>>

- ・パソコン <https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>
- ・携帯 <https://www2.toshokan.city.shizuoka.jp/winj/mobileopac/top.do>

静岡市立図書館の情報はこちらから



Web サイト



Twitter

静岡市立中央図書館 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町29-1 (054-247-6711)

御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)

北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)

清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)

蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)